

- 問1 東北地方の三陸海岸沿いには、過去の災害の記憶を伝える「自然災害伝承碑」を記した地図上の地点が密集しています。このように、海底で発生した大規模な地震などによって引き起こされ、沿岸部に甚大な被害をもたらす巨大な波を何といいますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 火山の噴火
 2. 津波
 3. 土石流
 4. 干ばつ
- 問2 東北地方や北海道の東方沖では、南から北上してくる黒潮（日本海流）と、北から南下してくる親潮（千島海流）が合流しています。このように性質の異なる海流がぶつかり合う海域の名称と、その特徴について述べた文として適切なものはどれか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
1. この海域は「リアス海岸」と呼ばれ、複雑に入り組んだ湾内では波が静かなため、真珠やカキの養殖が発達している。
 2. この海域は「潮目」と呼ばれ、プランクトンが豊富に発生するため、寒流系と暖流系両方の魚が集まる好漁場となる。
 3. この海域は「潮目」と呼ばれ、常に海水の温度が一定に保たれるため、海藻の養殖に最も適した環境となる。
 4. この海域は「大陸棚」と呼ばれ、水深が約200mと浅いため、日光が届きやすく底引き網漁が盛んに行われる。
- 問3 日本の気候区分のうち、12月や1月の降水量が他の月と比べて突出して多くなる地域において、このような季節的な特徴が見られる理由として正しいものはどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
1. 一年を通じて暖流である黒潮の影響を強く受け、冬でも上昇気流が発生しやすいため
 2. 夏に太平洋から吹く湿った季節風が山脈を越え、フェーン現象による乾燥した空気が流れ込むため
 3. 冬に日本海を渡る湿った北西の季節風が山脈にぶつかり、雪や雨を降らせるため
 4. 冬に日本の南の海上で発生した低気圧が、前線を伴って日本海側へ北上してくるため
- 問4 滋賀県大津市の一部を示した地形図において、等高線の数値を確認したところ、標高300メートルを超える山地にある施設が確認できた。このように、地形図から特定の施設の立地条件を読み取る方法として最も適切なものはどれか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 地形図上の建物が密集している場所はすべて標高が高い地点であると判断し、地図記号の種類に関わらず抽出する。
 2. 等高線の間隔が最も広い場所を探し、そこが標高の最も高い地点であると判断して施設を特定する。
 3. 太い線で描かれた50メートルごとの計曲線を数え、300メートルのラインよりも山頂側にある地図記号を探す。
 4. 方位記号で示された北側にある施設ほど標高が高い傾向にあるため、地図の上部に位置する地図記号を優先的に探す。
- 問5 大規模な地震が発生し、津波の危険がある海岸沿いの地域において、避難時に最も優先すべき行動として適切なものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 水が入りにくい地下駐車場や地下街に潜り、津波が通り過ぎるのを待つ
 2. 津波の引き波が発生するのをその場で確認してから、近くの頑丈な建物へ移動する
 3. 移動速度を上げるため、高低差の少ない海岸線沿いの道路を通して遠くへ避難する
 4. 海（海岸線）からできるだけ遠ざかり、標高の高い安全な場所へと避難する
- 問6 日本海側の地域において、冬に雪や雨などの降水量が多くなるメカニズムとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 赤道付近で発生した湿った空気が、冬の時期に日本海側の低気圧に向かって集中的に流れ込み、停滞するため。
 2. 大陸からの冷たく乾燥した北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇気流となるため。
 3. 南東から吹く暖かく湿った季節風が、日本海を流れる寒流の影響で急激に冷やされ、大量の雲を発生させるため。
 4. 日本海を流れる暖流によって海水温が上昇し、一年を通じて上昇気流が発生しやすくなるため。
- 問7 河川が山間部から平地へと流れ出る地点では、流れの速度が急激に落ちることで、運ばれてきた土砂が堆積して扇のような形をした地形が形成されます。この地形を何といいますか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 干拓地
 2. 台地
 3. 三角州
 4. 扇状地
- 問8 三重県の志摩半島や、岩手県から宮城県にかけての三陸海岸南部に見られる、小さな岬と湾が複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼ぶか、答えなさい。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 三角州
 2. リアス海岸
 3. 扇状地
 4. 砂浜海岸
- 問9 兵庫県や香川県などの瀬戸内周辺の地域では、ため池の数が1万か所を超えるなど、全国的に見ても非常に多く設置されています。これらの地域でため池が多く作られた要因となる、この地域の地形や気候の特徴を説明したのとして正しいものを選びなさい。 (2017年 広島県公立入試 類似)
1. 冬の季節風が山を越えて吹き下ろす際に乾燥する「フェーン現象」が一年中発生し、土地が乾燥しやすいため。
 2. 平野部が少なく地殻変動が激しいため、大きな河川の流れが不安定で、水をせき止めておく必要があるから。
 3. 火山灰が積み重なったシラス台地が広がっており、地面に水がしみ込みやすく川が干上がりやすいため。
 4. 中国山地と四国山地に挟まれているため、季節風による湿った空気がさえぎられ、年間降水量が少なくなるから。
- 問10 日本で最も長い信濃川は、1年間の流量（河川を流れる水の量）の変化において、4月ごろに最大となるという特徴があります。このような流量の変化を生じさせる、日本海側の地形や気候に関連した要因は何ですか。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. 上流の山地で冬の間に積もった雪が、春の気温上昇にともなって溶け出すため
 2. 夏に吹く南東の季節風が山脈に当たり、ふもとに大量の降水をもたらすため
 3. 梅雨前線が停滞し、流域に長期間にわたって雨をもたらすため
 4. 秋に発生する大型の台風が、日本海側へ頻繁に上陸するため
- 問11 日本の河川は、大陸の河川と比べて「長さが短く、流れが急である」という特色があります。このような河川の特色が、日本の自然災害や資源利用に与える影響について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
1. 降った雨がゆっくりと海へ流れるため、水量が年間を通じて安定しており、大型船による内陸輸送に適している。
 2. 河口付近でも標高が高いため、干拓によって大規模な農地を作るのに向いているが、塩害が発生しやすい。
 3. 雨が降ると短時間で一気に増水して洪水が起こりやすいが、急な流れを利用した水力発電に適している。
 4. 河川の傾斜が緩やかであるため、土砂の運搬作用が弱く、河口付近に三角州が形成されることはほとんどない。
- 問12 洪水が発生する恐れがある場合に備え、事前にハザードマップを確認して避難経路を選定する際の指針として、地理的な観点から最も適切な記述はどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 浸水予想地域から出るまでの距離が短く、かつ河川の近くを通らずに避難できる経路を選ぶ。
 2. 避難時の体力の消耗を防ぐため、浸水予想地域内であっても可能な限り平坦な道が続く経路を選ぶ。
 3. 浸水が始まった際に周囲の状況を把握しやすくするため、建物が少ない浸水予想地域の中央を通り抜ける経路を選ぶ。
 4. 増水の状況を確認しながら避難できるよう、できるだけ河川の堤防の上を通る経路を選ぶ。